

ブロック製造等訓練

この訓練では、働くために必要な基礎体力（筋力、持久力等）を高めるとともに、一連のブロック製造（事前準備（メンテナンス）～機械成型～計量～養生・保管（在庫管理）～検品・出荷）に訓練従事することを通じて、安全に十分注意しながら、他者と共同して品質の良い製品を作る「ものづくりの基本」を身につけることを目指しています。

1 筋力トレーニング等

工場や物流等の現場で重いモノを持ち運べるよう、筋力・持久力の強化並びに持ち運びのノウハウ（こつ）を習得するものです。（重量、回数は園生の体力に応じて加減します）

（主なトレーニング）

○砂入りコンテナ地切り(20回×10セット程度)

足を広げ、背筋を地面と直角になるよう伸ばし、ひざを曲げて両腕を伸ばした状態で 30 kgの砂が入ったコンテナを持ち、足の力で連続して持ち上げ下ろします。こうすれば、腰を痛めずモノを持ち上げることができます。園生何名かでグループをつくり、互いに号令をかけながら実施することで、励ましあいながら筋力、持久力を強化しています。

○砂入りコンテナ持ち上げ(20～30回程度)

地切りと同じ姿勢で 30 kgコンテナを持ち、足を伸ばすと同時に両腕を引き上げて、一気に腰上（腹）にコンテナを乗せて保持します。降ろす際にも力を抜かず、膝を曲げながらゆっくり降ろします。大事な商品を積み下ろしする際のコツを習得します。

○砂入りコンテナ運搬(8m×10往復程度)

持ち上げたコンテナをそのまま 8 m程度歩いて運び、積み下ろす訓練です。大事な商品を取り扱う気持ちで、下ろす際はそっと置くように努めます。また、同じコンテナを 2 人で運ぶ訓練では、協調して運ぶことを意識しています。

○その他

ブロックを利用したトレーニング（スクワット、持ち運びなど）や、ダンベル等の運動器具を使って、全身の筋力強化に取り組んでいます。（訓練後も、宿舎で自主的に筋トレに励む園生もいます）

2 ブロック製造訓練

（メンテナンス／事前準備）

1回当たり2個成型できる成型機を定期的に分解し、内部に付着した原料や錆等をきれいに除去したり、製造に利用する受板（成型用治具）を1枚1枚磨き上げる作業等の事前準備を通じて、品質を維持し、マシントラブルを防ぐためのメンテナンスの重要性を繰り返し意識させています。

（製造等）

成型機の周囲に4名配置し、役割を分担してブロックを製造します。

一人が、原材料（セメント＋砂を混ぜ合わせたもの）を成型機に投入できるよう準備し、その対面者（操作者）が受板をセットし、原材料を投入し機械を稼働させて成型します。

もう二人は、操作者の両側に位置し、操作者の動作をサポート（補助）するほか、作業順序の確認、製品の品質チェック、取り出し、計量等を行います。

操作者をはじめ作業に関わる者は、安全を第一とし、動作ごとに指先確認や号令をかけながら確実に作業を進めますが、成型機は稼働時の騒音が大きいので、そうした環境下でも指示が伝わるような大声で号令がかけられるよう、繰り返し訓練します。

また、前出の筋力トレーニング後の疲労がある状態でこの訓練に取り組むことにより、疲れていても集中して共同で作業できるよう、作業能力を高めていきます。

（保管等）

製造したブロックは、一定期間養生（乾燥）した後、屋外に保管する際、崩れにくく数えやすいブロックの積み方を繰り返し訓練します。

また、職員から「安全に関する講話」を定期的に行い、現場における安全性の確保の重要性を認識させています。